



「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第60号をお届けします。

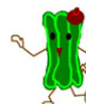
【1】論文の書き方講座から(第4回)

今回は4回目(最終回)となります。論文の評価軸である「新規性」、「有効性」、「信頼性」、「了解性」から、四つ目の「了解性」について述べたいと思います。了解性とは、読者にとってわかりやすい文章で書かれているかどうかの観点で、論旨の展開が十分理解しやすく、順序立てて明瞭に記述してあるかが判断のポイントとなります。以下が、了解性を高めるためのアドバイスです。

良い論文を書くためのアドバイス

・ 了解性

- 文章を**長すぎないように**することが基本。
- 文章ごとに、その**主語と述語の対応関係**が合っているかどうかをチェックすること。
- 「そして」、「また」、「更に」、「しかし」、「一方」などの**接続詞を適切かつ有効に使う**ことが了解性を上げる重要なポイント。
- まとまった内容ごとに**段落**とすること。
- 「**まえがき**」と「**むすび**」を読むだけで全体がある程度把握できるようにすること。
- **記号や用語の説明・定義**をチェックすること。



自分の原稿がわかりやすいかどうか、共著者や職場の友人、先輩、後輩に読んで頂きましょう。一人でチェックする場合は少し原稿を寝かせておいて読んでみると良いです。声を出して読んでみることも有効ですね。息継ぎ(ブレス)の箇所が文章の適切な切れ目となることが多いです。つまり、「目」と「耳」と「お腹」で論文のチェックができるというわけです。とにかく了解性を高めるには文章を書く実践あるのみです。まずは研究会で発表しましょう。お待ちしております。

【2】AP研アンテナの歴史委員会からのお知らせ

2012年の下記スケジュールが記載されたカレンダー(PDFおよび電子スケジュールiCAL形式)を歴史委員会HP(http://ap.ei.tuat.ac.jp/index_j.php)において配布しております。AP研の研究会開催スケジュール、IEICE総合大会・ソサイエティ大会、主な国際会議、そしてAP研に関わる偉人の誕生日や記念日等が記載されています。ぜひご活用ください。

【3】AP研1月研究会のお知らせ

[A] 1月10日(月), てんぶす那覇(那覇市)において, 2012 Korea-Japan Antennas and Propagation Workshop を開催します. 韓国海洋大学の金教授による下記の特別講演をはじめ, 日韓併せて21件の一般講演が予定されておりますので, 奮ってご参加下さい. なお, 懇親会にご参加の方は, 会費が20,000円ですので, よろしくお願い致します.

[Invited Talk]

Kyeong-sik Min (Korea Maritime University) :

Circularly Polarized Antennas for Non-Linear Junction Detector System Application

[B] 1月18日(水)~1月20日(金), 九州工業大学工学部戸畑キャンパスにおいて, 研究会を開催します. オーガナイズドセッション「無線通信の明日を支える電波伝搬の研究」(オーガナイザ: 今井哲朗(NTTドコモ)), および下記のAP研歴史委員会特別講演1件, チュートリアル講演2件を含めて, 43件の講演が予定されておりますので, 奮ってご参加下さい.

[AP研歴史委員会特別講演]

・正源和義(B-SAT) :

放送アンテナ技術の発展とスーパーハイビジョン時代への課題(口頭発表)

[チュートリアル講演]

・市坪信一・宮田康正・川島大地(九工大) : マイクロセル移動伝搬の周波数特性

・藤井輝也・太田喜元(SBM) : 屋内端末静止, 周辺移動環境下におけるチャンネルモデル
~ 端末自移動のチャンネルモデル(Clark Model)との大きな差異 ~

【4】副委員長の「言葉にできない」

11月16日(水)~18日(金)の名古屋での研究会(RGS研と併催)はお陰様で大きな失敗もなく何とか終わりました. 久しぶりの会場世話人であったこと, 慣れない会場(広い国際会議場)であったことなどから, 体力的にも精神的にも(金銭的にも?)かなり消耗致しましたが, 皆様からの「ご苦労様です」の一言が支えとなりました. 今後, 研究会の会場世話人となられる方は, 大変でしょうが何卒よろしくお願い申し上げます. 予定通り, 最後の夜は「言葉にできない」を歌いました. 疲れからか, 息切れしてしまいましたが, 晴れやかで満足感でいっぱいでした. 来年10月末には同じ会場でISAP2012が開催されます. 今回参加して下さった方々はもちろん, 参加できなかった方々とも来年, 名古屋でお目にかかりたいと思っています. 再び名古屋で「あなたに会えてよかった♪」と歌えるユニタリな夜を過ごしましょう.

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 菊間信良(名工大)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

